

2000年3月14日

財団法人ローランド芸術文化振興財団

大阪市北区堂島浜一丁目4番16号

音楽教育におけるマルチメディアの有効活用例

## 第8回音楽教育のためのメディア活用コンクール 作品募集のお知らせ

児童・生徒の音楽作品を大募集

財団法人ローランド芸術文化振興財団(事務局本部:大阪市北区堂島浜1-4-16、理事長:梯 郁太郎)は、「第8回音楽教育のためのメディア活用コンクール」を日本教育新聞社と共催にて実施いたします。

本コンクールは、DTM(デスクトップ・ミュージック)や電子楽器、映像機器、インターネットなどのメディアによる、音楽教育の指導事例や作品を応募いただくものです。第7回では、先生の部102点、児童・生徒の部371点のご応募をいただきました。

コンピューターや電子楽器で作成した音楽、画像映像やインターネットと組み合わせた音楽など、新しいメディアを活用した音楽の確立とともに、教育の形も音楽科から、他教科との連携、総合的な学習の時間、学校生活全般へと広がり続けています。

このような状況を踏まえ、当財団では、メディアを活用した音楽がいっそう有効な教育素材となることを期待し、本コンクールを企画いたします。

なお概要は以下の通りです。

コンピューター・ミュージックのこと。

### コンクール概要

#### 応募部門

- (1)先生の部[A.音楽科部門 B.総合的学習部門]
- (2)児童・生徒の部[A.小学生部門 B.中学生部門 C.高校生部門]

#### 応募対象

小・中・高等学校・特殊教育諸学校の教職員と児童生徒。教育委員会、教育センター等の教育関係機関に所属する方(個人、団体を問わず)。

#### 募集作品

【使用メディア】コンピューターと「ミュージ郎」などのDTMシステム、シンセサイザー等の電子楽器、または映像機器やインターネットなど。

- (1)先生の部:上記メディアを使用した音楽教育の指導実践。音楽科の実践と、総合的な学習の時間やクラブなど学校活動全般の実践の2部門で募集。
- (2)児童・生徒の部:学校活動の一環で上記メディアを使用して、児童・生徒自らが制作した音楽作品。学校種により3部門で募集。

募集期間 2000年3月15日(水)~2000年6月10日(土)<消印有効>

#### 応募方法

- (1)先生の部:所定の応募用紙を使用の上、指導計画・指導案またはそれに準ずる資料を添付。具体的に実践を示す資料(ビデオ、写真など)の添付が望ましい。
- (2)児童・生徒の部:所定の応募用紙を使用のうえ、作品を収めたフロッピーディスクとカセットテープ、もしくはビデオテープを提出。

**応募宛先**

(1) 郵送：日本教育新聞社「音楽教育のためのメディア活用コンクール」事務局

〒150-8510 東京都渋谷区恵比寿西 2-17-21 TEL：03-3461-3588

(2) インターネット：<http://www.roland.co.jp/cai/campus/contest/contest.html>

応募用紙は本コンクール事務局に請求、もしくはホームページからダウンロードできます。

---

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

**(財) ローランド芸術文化振興財団**

「音楽教育のためのメディア活用コンクール」担当：遊免（ゆうめん）

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-7

TEL：03-3251-6565

**(財) ローランド芸術文化振興財団事務局 担当：奥村**

〒530-0004 大阪市北区堂島浜 1-4-16

TEL：06-6345-7340

---